

## 北海道大学グローバル COE プログラム「触媒が先導する物質科学イノベーション」 第1回国際シンポジウム「キックオフ・シンポジウム」

平成19年度から文部科学省がスタートさせたグローバルCOEプログラムに採択された、「触媒が先導する物質科学イノベーション」による第1回国際シンポジウムが、平成20年1月16日(水)の午後、理学部5号館大講義室で開催されました。このグローバルCOEプログラムは、触媒の研究を物質科学の中心的課題である物質変換と物質創製の基盤研究として拠点形成を図るものであり、21世紀の物質科学のイノベーションを達成することを目的としております。

第1回国際シンポジウムとなった「キックオフ・シンポジウム」には、内外からお招きした、9名（中国：2名、韓国：2名、台湾：1名、日本：4名）の講演者による招待講演のほか、本プログラムの「若手教員イノベーション研究，博士課程学生プロジェクト研究」に採択された研究者49名によるポスター講演が行われました。

講演会冒頭の開会式では、拠点リーダーの宮浦憲夫工学研究科教授による本プログラムの説明に始まり、佐伯浩北海道大学総長，三上隆工学研究科長，山口佳三理学研究院長から祝辞を頂戴しました。講演会には、延べ約200名の参加者があり、記念すべき「キックオフ・シンポジウム」における活発な討論が交わされました。

また、講演会后、札幌市内のホテルで開催された懇親会には、招待講演者，佐伯総長，三上研究科長，山口研究院長をはじめ75名の参加者があり、互いの親睦を深めるとともに、本プログラムが推進するアジア国際連携大学院について、熱心な話し合いが続けられました。



講演会後の招待講演者による記念撮影



開会式で挨拶する拠点リーダー 宮浦憲夫教授